

17年4月
 第275号

29日(土)定期総会 港小で開催へ

初試み 地域連携室を活用

見てみよう！新時代の教室

開催時間 午後3時～5時

主な日程 学校見学（約30分間を予定）

定期総会 午後3時30分～

【総会プログラム】

特別講演 午後3時30分～午後4時

講師 銘苅 健 港川小学校長

テーマ 「学校・地域の連携について」（仮題）

総会議題

①16年度の事業・決算案報告並びに承認

②16年度決算の監査報告

③17年度事業計画・予算案の承認

④17年度役員選出・承認



完成した新校舎。左手壁画の下、1階に地域連携室

小学校をもっと身近に

新しい地域作りに向けて

学校施設を使って自治会の総会を開く―地域にとつてはもちろん初めてですが、県内でも初の試みかもしれません。目的はこれまで長年取り組んでいる「学校と地域の連携」をより深化拡充させることです。子どもたちの安心安全や学力向上などの諸課題と高齢者の生きがいづくり等の

地域課題にそれぞれがもつ役割を果たせれば、もっといい地域社会になっていけるはず。そんな思いをもった挑戦です。

3月に開校した新校舎には、初めて「学校地域連携室」も新設されました。市内全小学校には既に以前からありますが、P.T.A.の利用が中心で自治会との連携に生かされているケースは余り見当たりません。

小学校は大規模災害時の住民避難

先でもあり、学校施設の状況を知ることとは「避難訓練」にもつながります。またこれを機に連携室の日常的な利用を積極的に検討したい。教室のつくりも昔とは様相がまるで違います。港川小の子ども達の新しい学び舎も見どころ一杯です。当日は職員の内や総会後の懇親交流会参加も検討されています。

会長立候補受付

4月15日応募締切です

規約により任期1年。手当月額2万5000円。選任は総会場で決まります。立候補は自薦他薦問わず地域をもっとよくしたい―意欲のある方ぜひ積極的に応募を！

神縄空手会館など見て回る

3月のふれあいミニバスツア



建物は立派でした。大きな期待をもって訪問しましたが、あいにくこの日は「定休日」。実に間の抜けた企画となつてしまいました。ご参加の皆さん、大変失礼しました。外観と構内を散策してⅡ写真Ⅱ海軍壕見学、糸満市の道の駅「うまんちゅ広

ゆくいだき うときどき閑話

付度（そんたく）辞書などによると「他人の心をおもひやること」という。森友学園を巡る騒動で一躍全国的に話題になった言葉で、早くも今年の「流行語大賞」の声が上がるほど。国有地売却に伴う8億円もの値引きが官僚による「付度」が働いたのではないか？というのだ。国会の証人喚問で、籠池氏は「政治的働きかけはしてない」と語っている。現に通常では考えられない「値引き」がされたのだから何らかの付度があった―と考えるのが自然。一般国民が役所を訪ねても「たらい回し」にされることが多い。役人が「大物」に弱いこともよく耳にする―が今回はそんなことも異質に思える。戦前回帰、憲法改正を志向する勢力が官僚まで巻き込み、教育の根本から日本を変えようとしている―そんな活動に国民の金、財産を利用しようとした―それが問題の構図だろう。疑惑だらけの終息は許されない！

場」で買ひ物。会館見学は近々再チャレンジします。

ご寄付に感謝します

【香典返し】石嶺昌男さん（3班）から故次男・昌幸さんの香典返しとして金一封のご寄付がありました。本来なら7月号で掲載すべきでしたが、不手際で遅れてしまいました。お詫び申し上げますと共に、遅ればせながら掲載しご報告致します。